



# 2024年3月期 決算説明会

株式会社 牧野フライス製作所

2024年4月30日



## 業績

- FY23売上は2,253億円(前年度比1.2%減)
- FY23営業利益は163億円(前年度比6.4%減、営業利益率7.3%)
- FY24売上計画は2,220億円(前年度比1.5%減)

## 受注

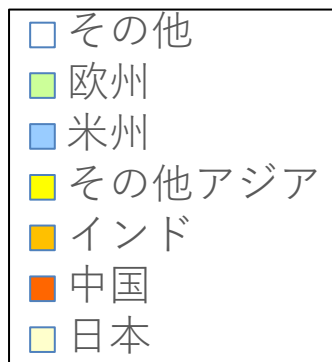
- FY23受注は2,133億円(前年度比14.5%減)
- FY24受注計画は2,150億円(前年度比0.8%増)

# 連結 仕向地別受注

23年度の下期実績は計画比減少も、前年同期比では増加

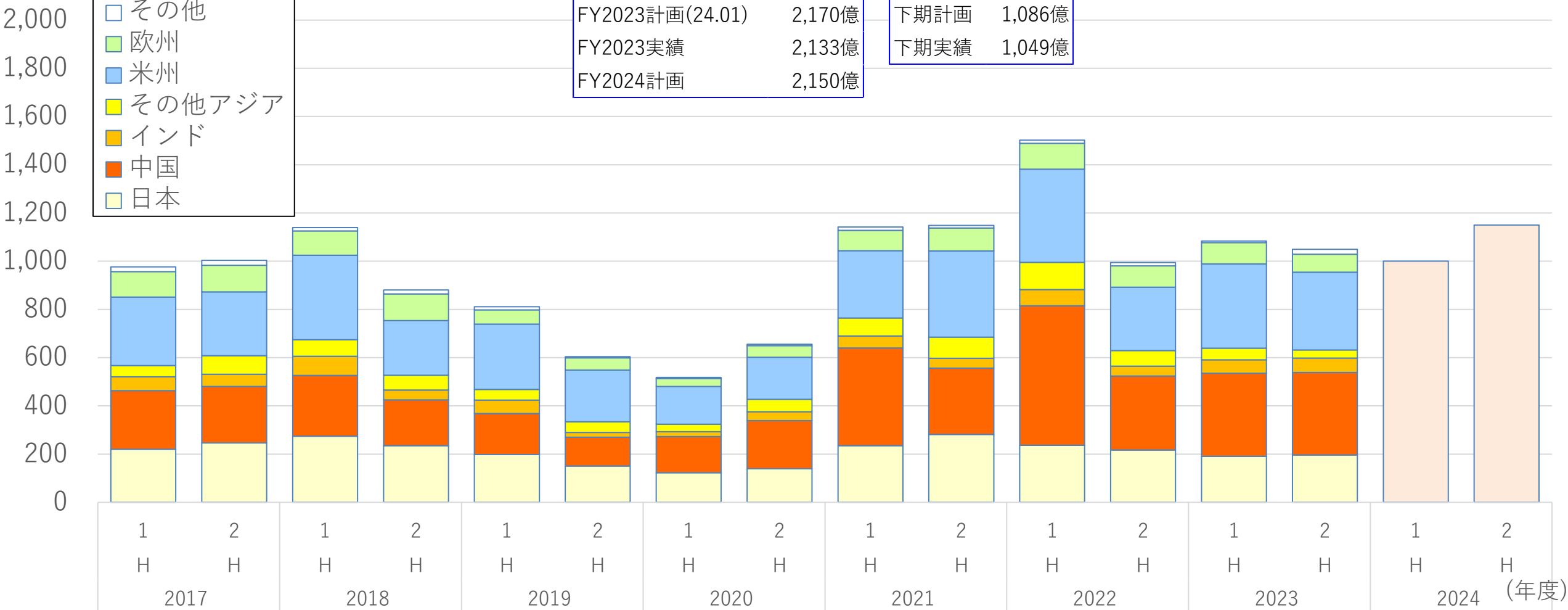
24年度の計画は下期の受注増により、23年度比で増加を見込む

(億円)



FY2023計画(24.01)	2,170億
FY2023実績	2,133億
FY2024計画	2,150億

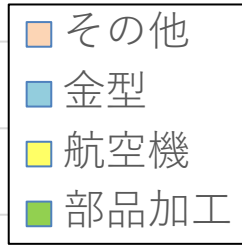
下期計画	1,086億
下期実績	1,049億





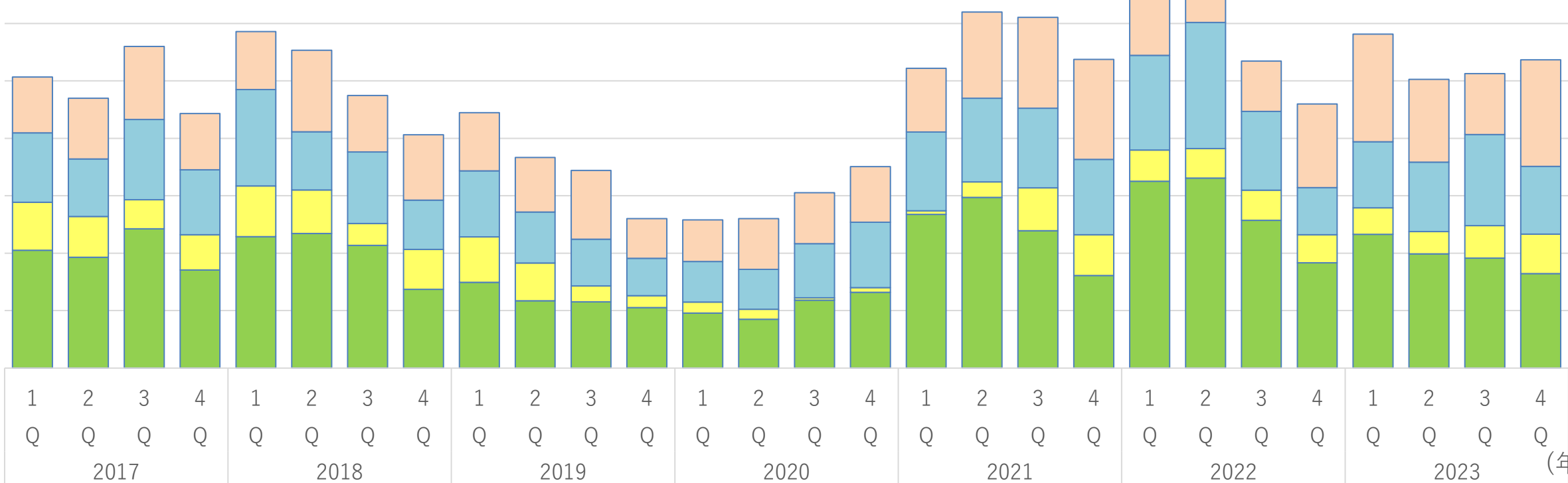
## 4Qは前年同期比で金型、航空機向けが増加

(億円)



FY2023計画(24.01)	2,170億
FY2023実績	2,133億
FY2024計画	2,150億

4Q計画	573億
4Q実績	536億

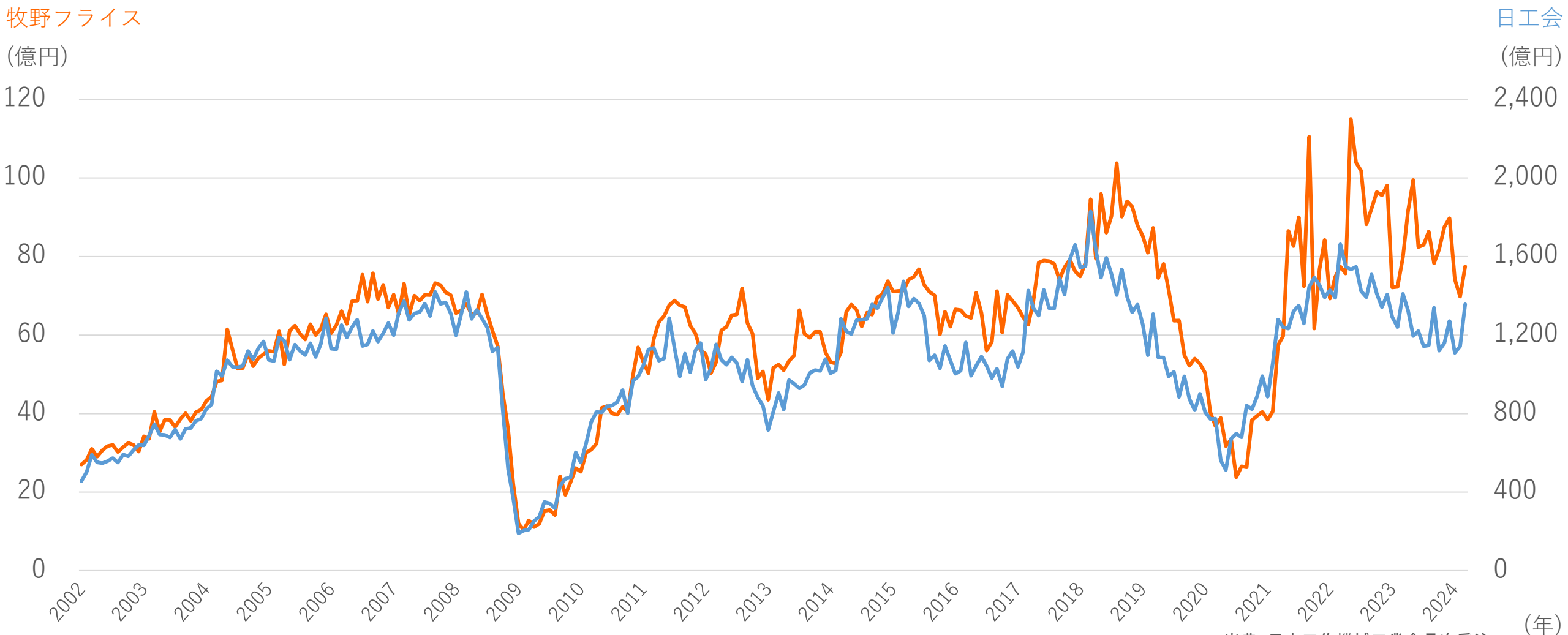


(年度)

# 個別 日工会・牧野フライス製作所 月次受注



## 4Qのシェアは、6.1%

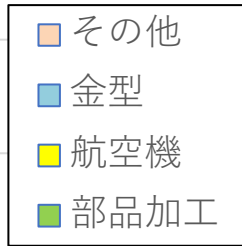


出典: 日本工作機械工業会月次受注

# 個別 国内受注

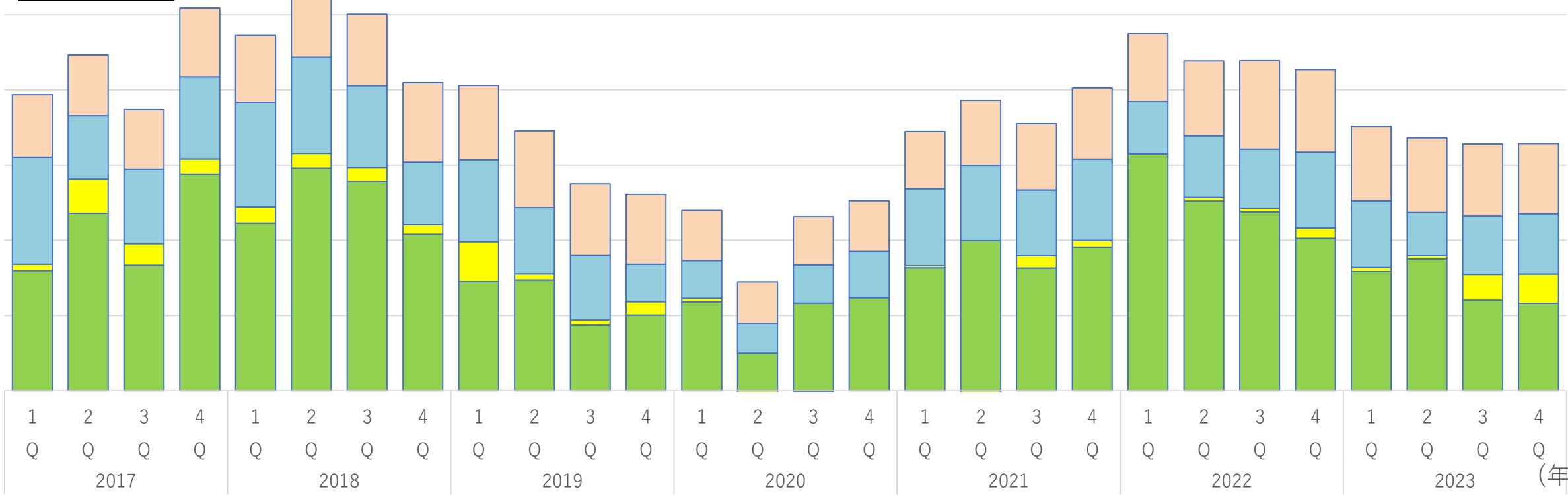
4Qは前年同期比で部品加工向けを中心に減少

(億円)



FY2023計画(24.01)	273億
FY2023実績	268億
FY2024計画	270億

4Q計画	70億
4Q実績	65億

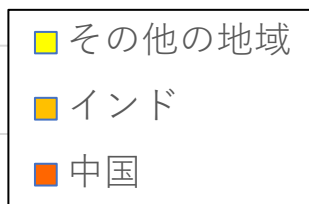


(年度)

# アジア子会社 地域別受注

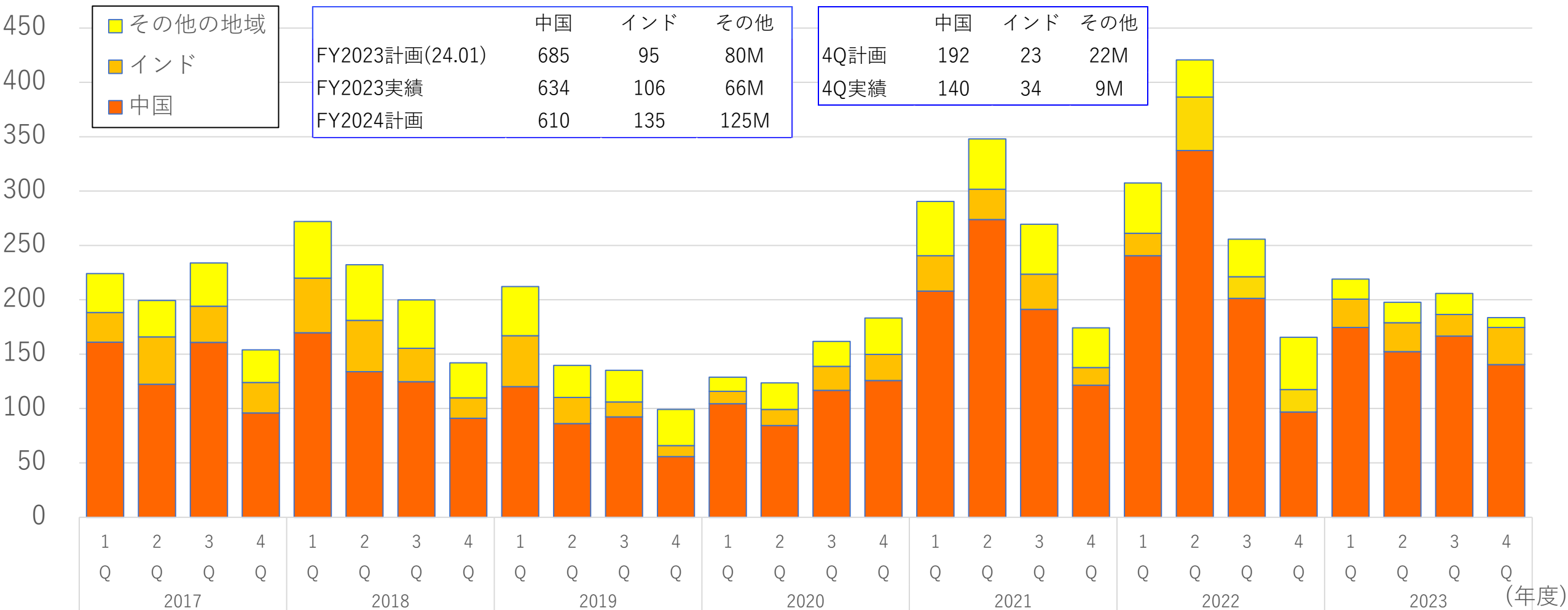
4Qの中国は金型向けを中心に前年同期比で増加  
インドは部品加工および航空機向けが増加

(百万シンガポールドル)



	中国	インド	その他
FY2023計画(24.01)	685	95	80M
FY2023実績	634	106	66M
FY2024計画	610	135	125M

	中国	インド	その他
4Q計画	192	23	22M
4Q実績	140	34	9M

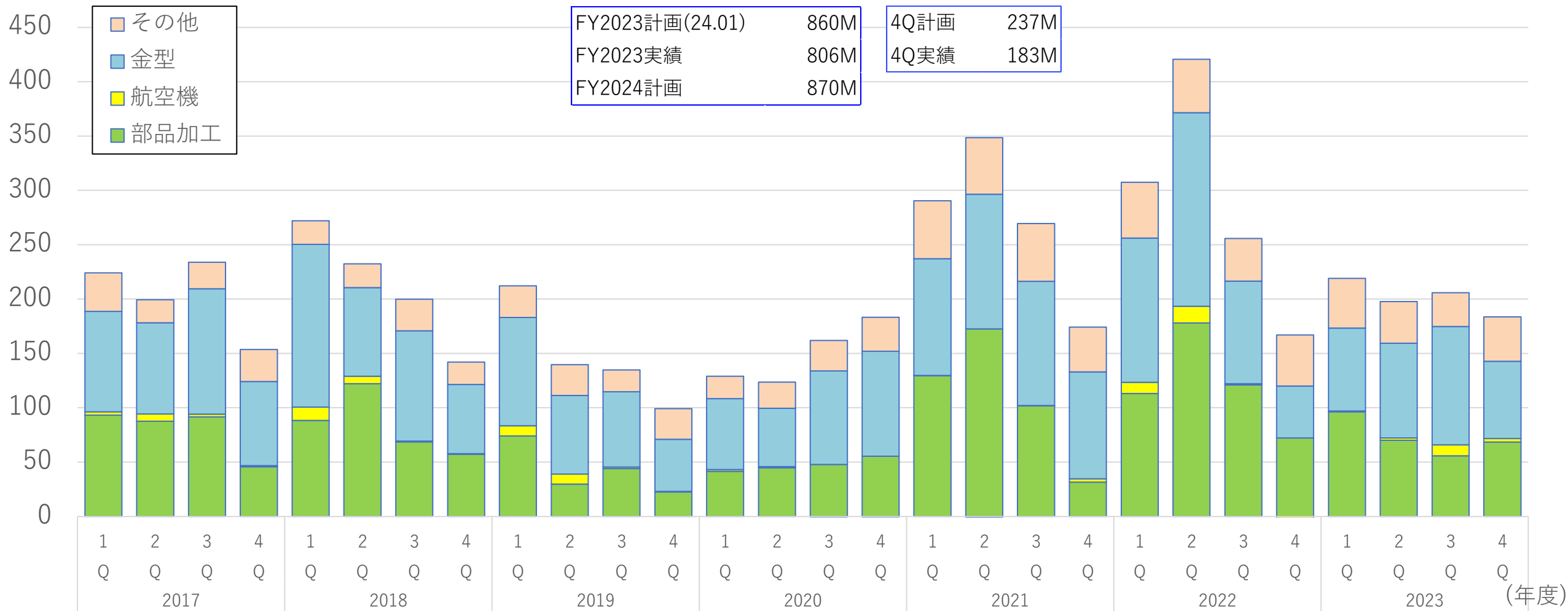


# アジア子会社 業種別受注



4Qは前年同期比で増加。中国で新エネルギー車向けの受注は継続

(百万シンガポールドル)



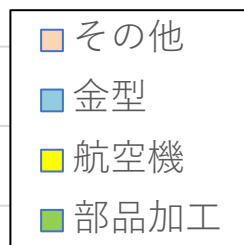


# アメリカ子会社 受注



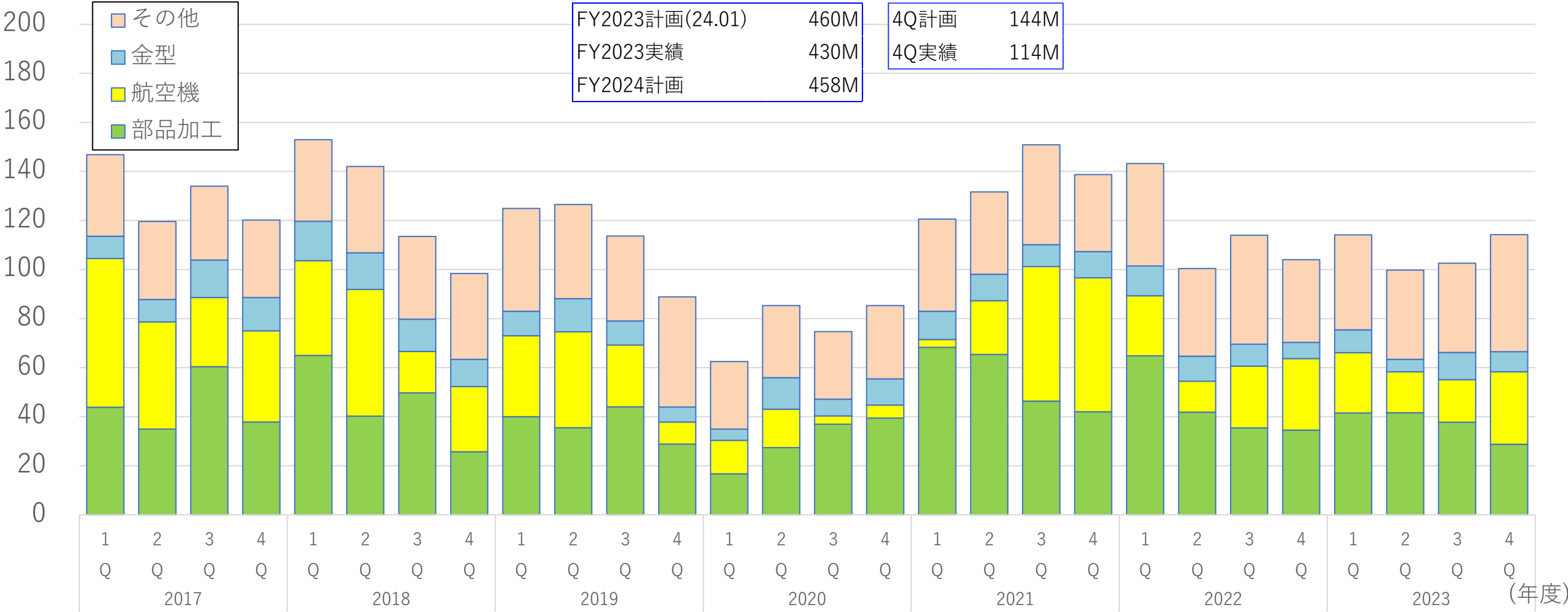
4Qは航空機、医療向けは堅調、自動化需要が高まり前年同期比で増加

(百万USドル)



FY2023計画(24.01)	460M
FY2023実績	430M
FY2024計画	458M

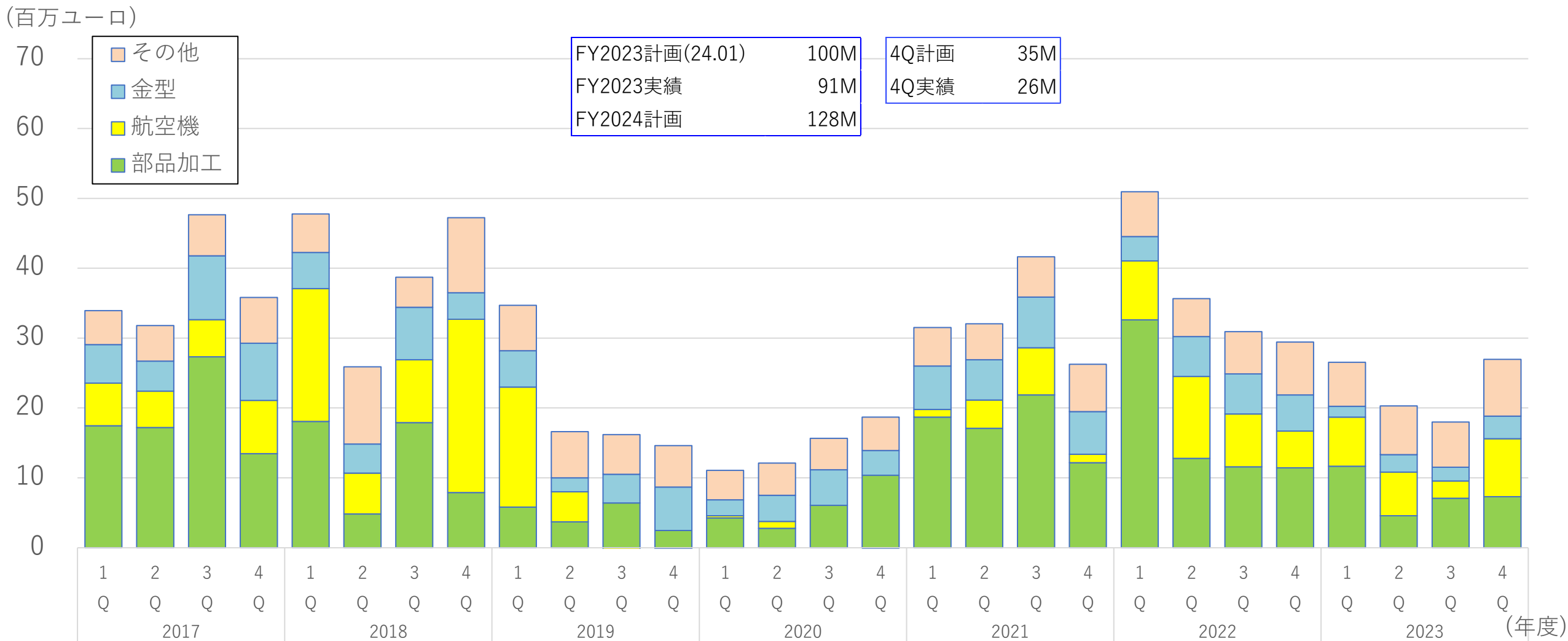
4Q計画	144M
4Q実績	114M



(年度)



## 4Qは自動車の部品加工向け中心に前年同期比で減少



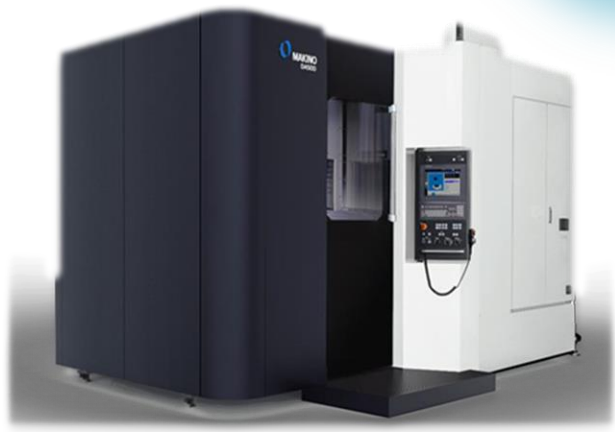
# 開発における取り組み

## 機械

多軸化

大型化

高 速  
高 精度  
高 品位



5軸制御立形マシニングセンタ  
DA500



横形マシニングセンタ  
a91nx

## ソフトウェア

工程管理

情報管理



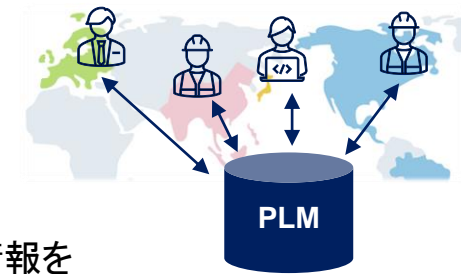
### MAS-NX

デジタル技術を通じて  
現場の非効率を最小化・機械の生産性を最大化

情報の一元管理

標準化  
共用化

## 開発効率



### 新PLMシステム

開発・生産・サービスの情報を  
グローバルで一元管理し新製品開発の効率を向上

# 各地域における取り組み

## 販売体制の構築

- ▶ ナショナルスタッフ増強 (北米・欧州)
- ▶ テクニカルセンタ刷新
- ▶ 新興国向け現地開発製品のラインナップ拡充 (アジア)
- ▶ 大型加工サンプル 移動展示会 (日本)
- ▶ 新興エリアへの拠点展開 (メキシコ・ベトナム)

### ・新大型加工サンプル移動展示会



### ・メキシコ新テクニカルセンタの開設



### ・ベトナム新拠点の設立



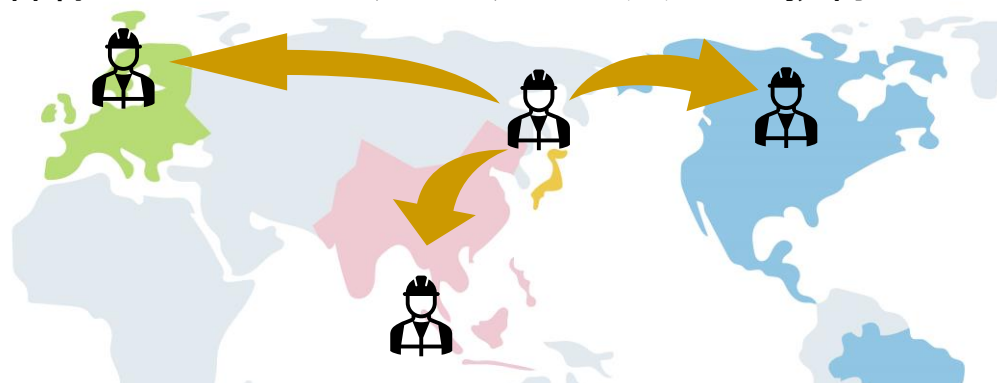
## サービス体制の構築

マキノマシンケアパッケージ(MMCP)による「予防保全」をグローバルに提案



## 海外エンジニアリング・サービス強化

日本からグローバルにエンジニアリング人財を派遣しお客様のサポートやナショナルスタッフの教育





当社製品・サービスを利用されるお客様の用途別に、次の通り分類しております。

**金型:** 主にプラスチックやダイキャスト製品などを成型する金型の加工向け

**部品加工:** 自動車部品をはじめ、製品・機器に使用される部品の加工向け(航空機以外)

**航空機:** 航空機の部品加工向け

# '24年3月期 連結決算(対前年同期)

前年同期比では減収減益

(百万円)	'23年3月期 (22.4.1~23.3.31)	'24年3月期 (23.4.1~24.3.31)	差引増減 (増減率)
売上高	227,985	225,360	△ 2,624 (△1.2%)
営業利益	17,492 (7.7%)	16,372 (7.3%)	△ 1,120 (△6.4%)
経常利益	19,906 (8.7%)	18,918 (8.4%)	△ 987 (△5.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,073 (7.1%)	15,981 (7.1%)	△ 91 (△0.6%)
為替レート USD	135.47	144.62	
為替レート EUR	140.97	156.80	
為替レート SGD	98.62	107.52	

# '24年3月期 連結決算(対予想)

2024/4/30



No.15

輸出案件を中心に売上が上振れ、利益も増加

(百万円)	'24年3月期(予想) (23.4.1~24.3.31)	'24年3月期(実績) (23.4.1~24.3.31)	差引増減 (増減率)
売上高	217,000	225,360	8,360 (3.9%)
営業利益	14,800 (6.8%)	16,372 (7.3%)	1,572 (10.6%)
経常利益	16,700 (7.7%)	18,918 (8.4%)	2,218 (13.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,400 (6.2%)	15,981 (7.1%)	2,581 (19.3%)
為替レート USD	143.50	144.62	
為替レート EUR	155.80	156.80	
為替レート SGD	106.90	107.52	

# セグメント(報告セグメント別)

2024/4/30

 **MAKINO**  
Promise of Performance

No.16

(百万円)

当期 '24年3月	I (日本)	II (アジア)	III (アメリカ)	IV (ヨーロッパ)	消去	連結
売上高 (外貨売上高)	138,045	100,612 (903,925)	61,114 (422,587)	21,677 (138,252)	-96,089	225,360
営業利益	9,447	4,816	2,158	535	△ 584	16,372
前期 '23年3月	I (日本)	II (アジア)	III (アメリカ)	IV (ヨーロッパ)	消去	連結
売上高 (外貨売上高)	141,258	106,141 (1,042,023)	64,261 (474,358)	17,699 (125,556)	-101,374	227,985
営業利益	7,644	7,569	4,051	113	△ 1,886	17,492
前々期 '22年3月	I (日本)	II (アジア)	III (アメリカ)	IV (ヨーロッパ)	消去	連結
売上高 (外貨売上高)	117,159	83,427 (966,710)	46,132 (410,505)	12,824 (98,226)	-72,952	186,591
営業利益	3,334	5,562	1,933	123	345	11,300



# 売上高(納入先 地域別)

2024/4/30



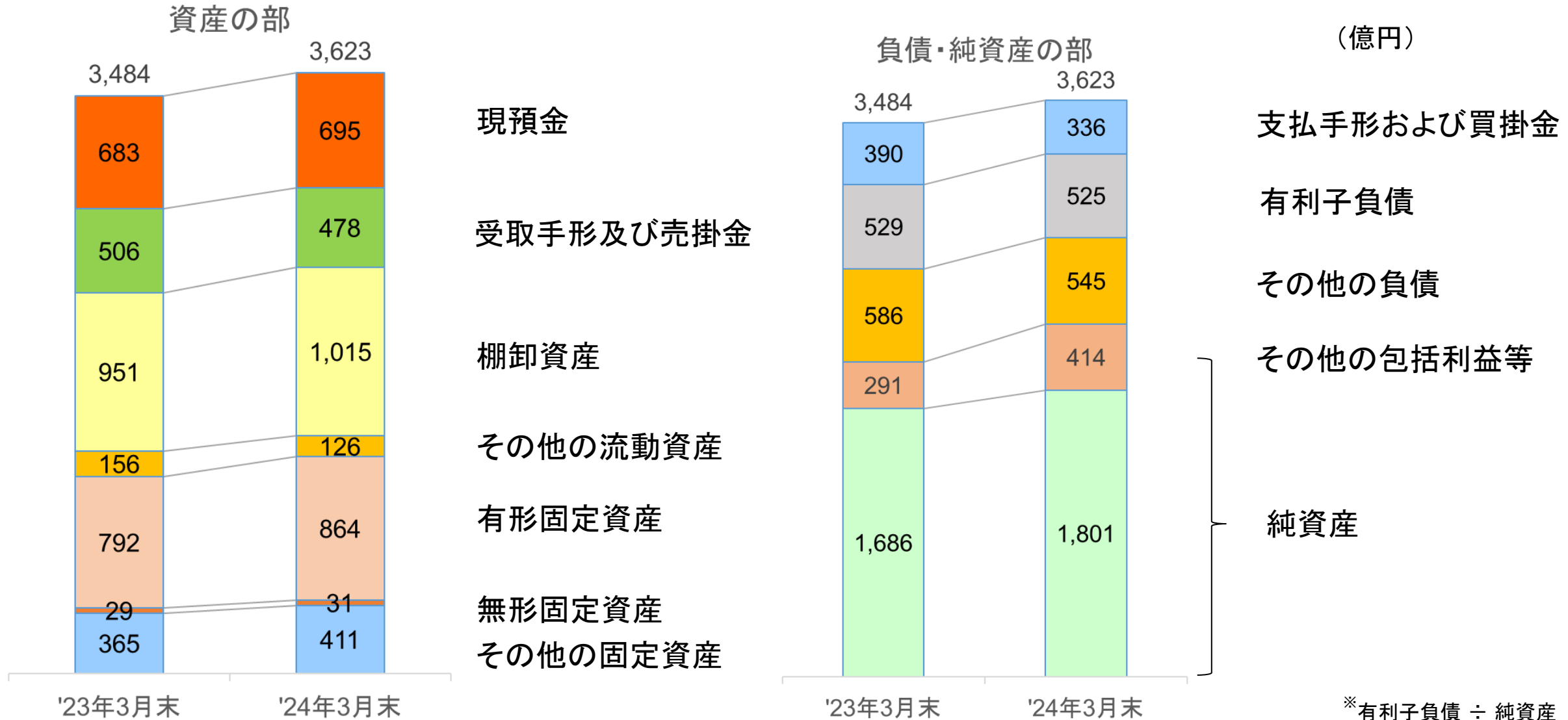
No.17

(百万円)

当期 '24年3月	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	連結
売上高	41,533	99,136	61,585	20,503	2,601	225,360
比率	18.4%	43.9%	27.3%	9.0%	1.1%	
前期 '23年3月	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	連結
売上高	39,807	103,604	64,022	18,765	1,785	227,985
比率	17.4%	45.4%	28.0%	8.2%	0.7%	
前々期 '22年3月	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	連結
売上高	43,025	82,432	45,823	13,398	1,911	186,591
比率	23.0%	44.1%	24.5%	7.1%	1.0%	

# 連結貸借対照表サマリー

24年3月末 D/E レシオ\* 24% (23年3月末は27%)



# 連結キャッシュフロー計算書

2024/4/30



No.19

## 売上債権と棚卸資産の減少によりフリーキャッシュフローは改善

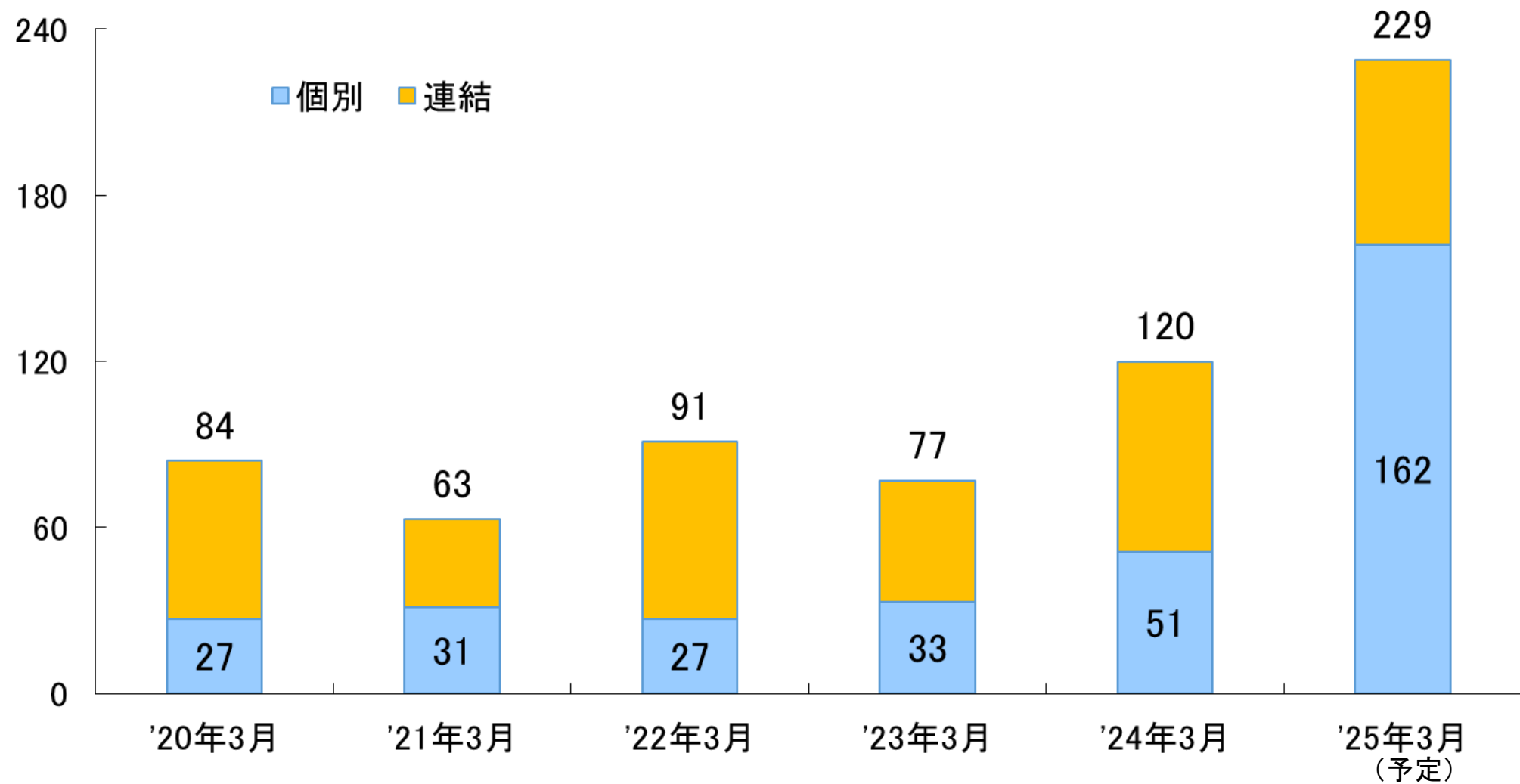
(単位:百万円)

項 目	'23年3月期 ( '22.4.1 ~ '23.3.31 )	'24年3月期 ( '23.4.1 ~ '24.3.31 )
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	19,450	19,629
減価償却費	7,903	8,266
売上債権の減少額(△増加額)	1,278	7,589
棚卸資産の減少額(△増加額)	△ 12,107	942
仕入債務の増加額(△減少額)	△ 8,075	△ 11,972
その他	△ 5,502	△ 11,544
営業活動によるキャッシュフロー	2,948	12,910
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額	△ 1,409	1,968
有形固定資産の取得による支出	△ 6,423	△ 9,577
有形固定資産の売却による収入	237	536
投資有価証券の売却	-	651
その他	△ 1,197	9
投資活動によるキャッシュフロー	△ 8,793	△ 6,411
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金純増減額	-	619
ファイナンス・リース債務の返済	△ 1,040	△ 1,073
長期借入金による収入	9,000	4,000
長期借入金の返済による支出	△ 4,650	△ 5,250
自己株式の取得による支出	△ 265	△ 1,002
子会社の自己株式の取得による支出	△ 50	△ 100
配当金の支払額	△ 2,961	△ 3,577
非支配株主への配当金の支払額	△ 13	△ 6
連結の範囲の変動を伴わない子会社株式の取得	△ 358	-
財務活動によるキャッシュフロー	△ 340	△ 6,390
<b>IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 59	3,002
<b>V. 現金及び現金同等物の増減額</b>	△ 6,245	3,111
<b>VI. 現金及び現金同等物期首残高</b>	75,712	69,467
<b>VII. 現金及び現金同等物期末残高</b>	69,467	72,578



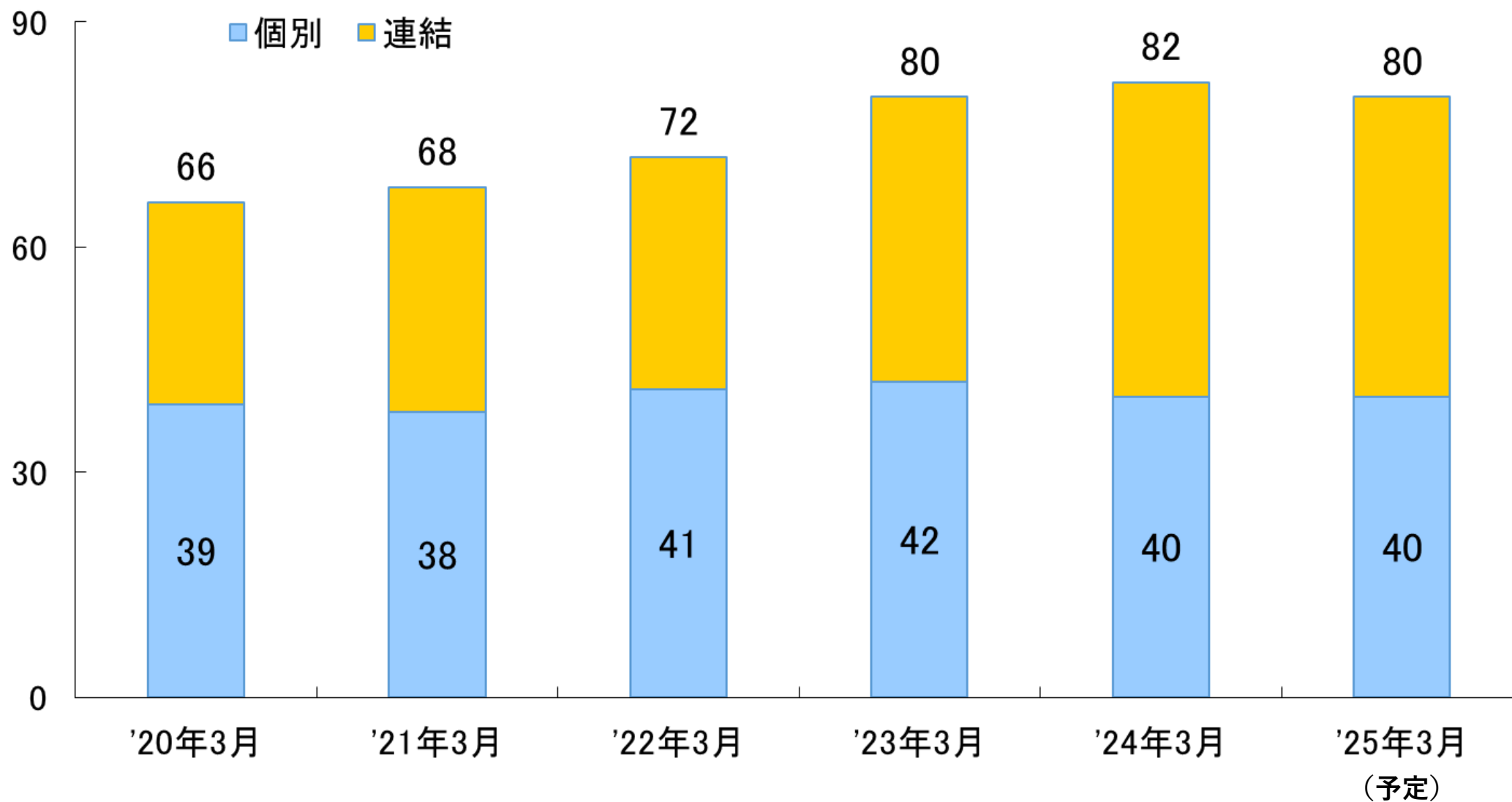
## 25年3月期は国内を中心に229億円の設備投資を計画

(億円)

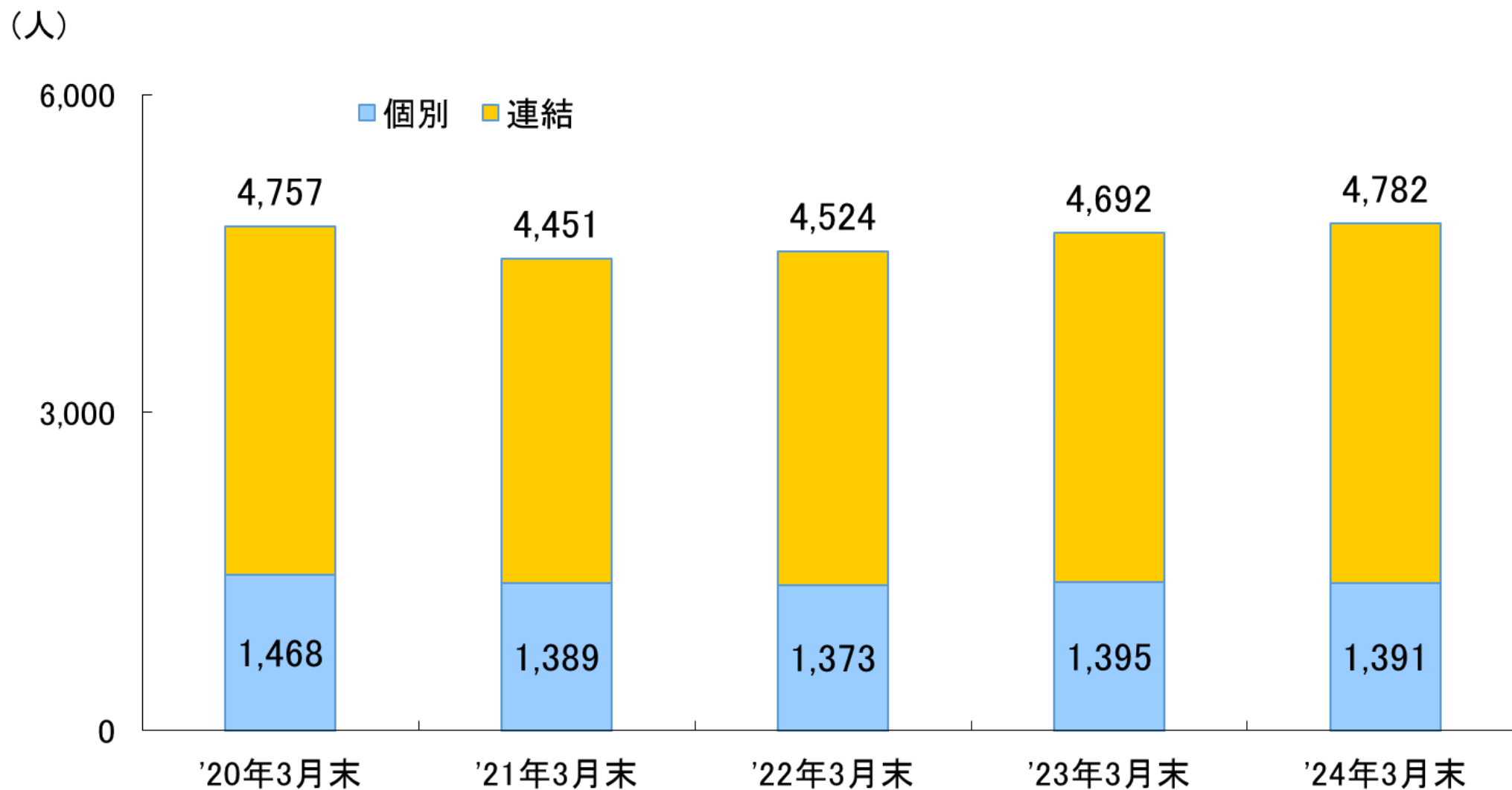


# 減価償却

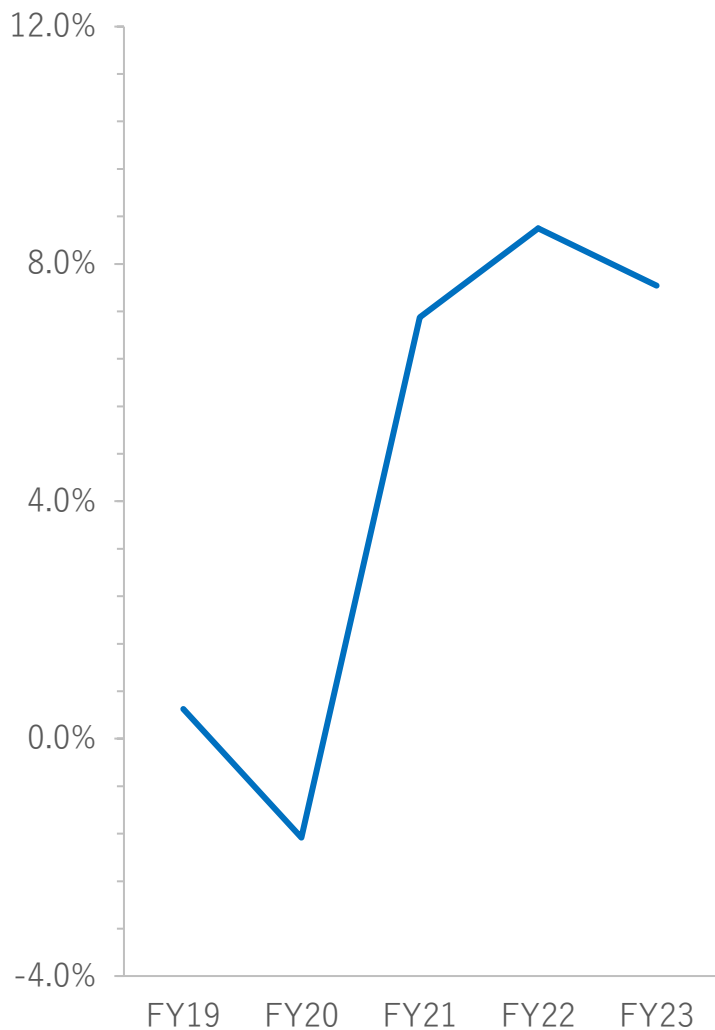
(億円)



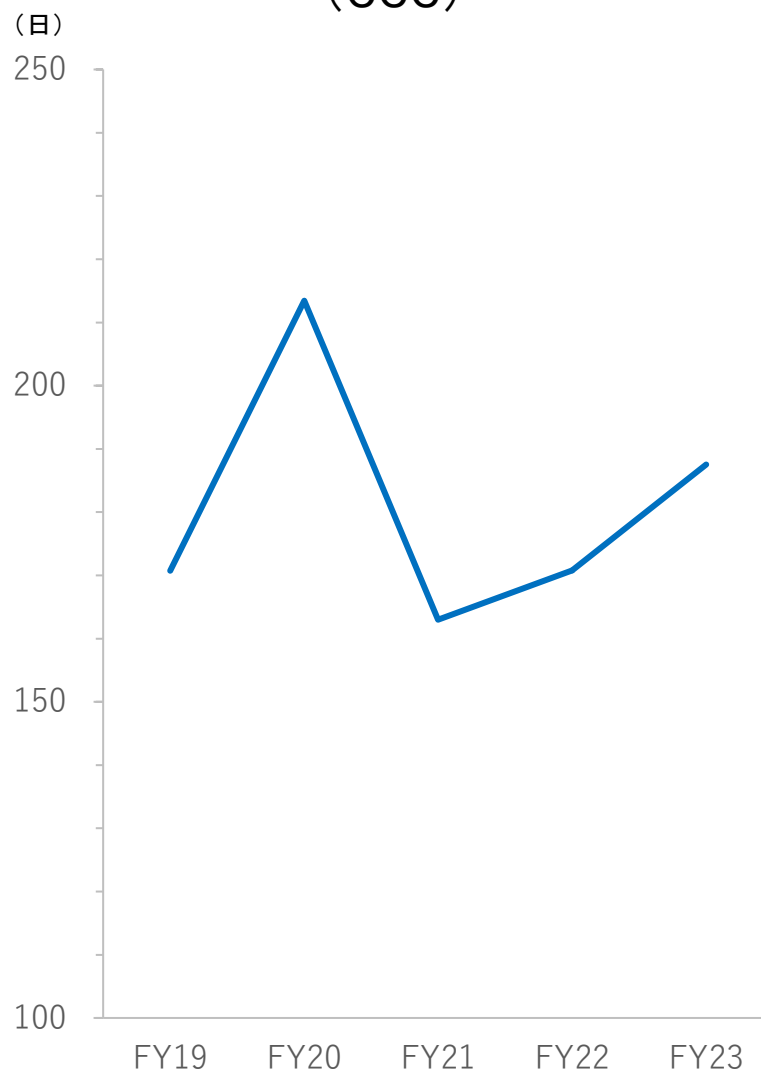
## 前期末から90名増加



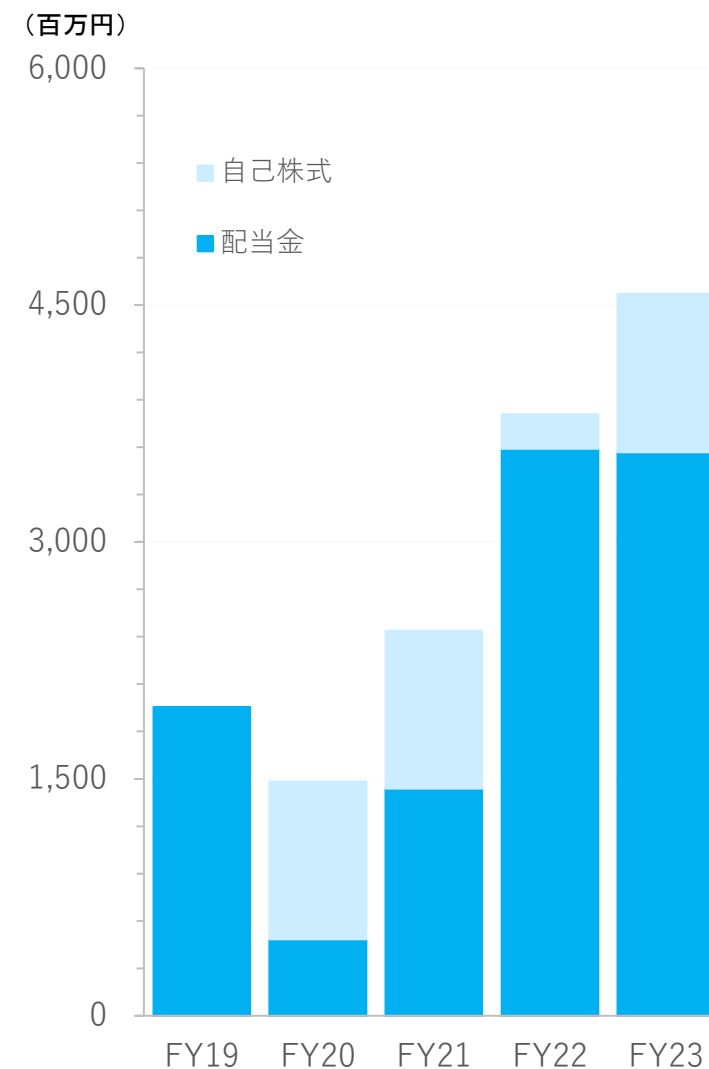
## ROE



## キャッシュ・コンバージョン・サイクル (CCC)



## 株主還元



# 予想連結損益計算書

2024/4/30



No.24

(百万円)	24年3月期(実績) ( '23.4.1 ~ '24.3.31)	上期(予想) ( '24.4.1 ~ '24.9.30)	下期(予想) ( '24.10.1 ~ '25.3.31)	通期(予想) ( '24.4.1 ~ '25.3.31)	差引増減
売上高	225,360	101,500	120,500	222,000	△ 3,360
営業利益	16,372 (7.3%)	5,200 (5.1%)	10,300 (8.5%)	15,500 (7.0%)	△ 872
経常利益	18,918 (8.4%)	5,700 (5.6%)	10,800 (9.0%)	16,500 (7.4%)	△ 2,418
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,981 (7.1%)	4,800 (4.7%)	8,700 (7.2%)	13,500 (6.1%)	△ 2,481
為替レート USD	144.62	145.00	145.00	145.00	
為替レート EUR	156.80	155.00	155.00	155.00	
為替レート SGD	107.52	107.00	107.00	107.00	





対前年同期

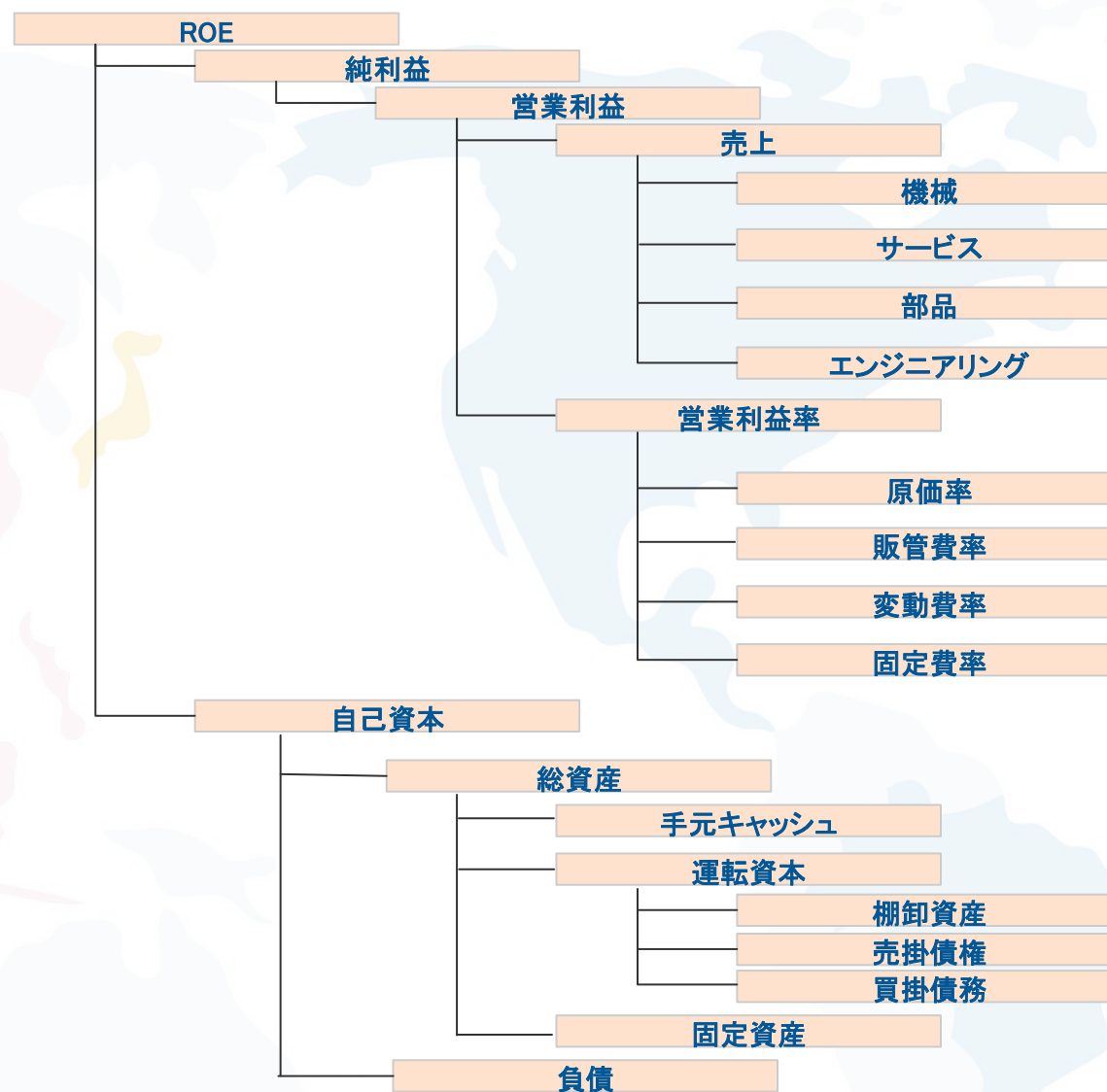
(百万円)

	'25年3月			売上高の増減	営業利益の増減
	外部売上高	為替レート	(前年同期)		
USD	USD 456M	145.00	(144.62)	173	27
EUR	EUR 128M	155.00	(156.80)	-229	-37
SGD	SGD 816M	107.00	(107.52)	-424	-24
			合計	-480	-34

## 指標の階層



## 指標の基礎となる財務ツリー



## 環境

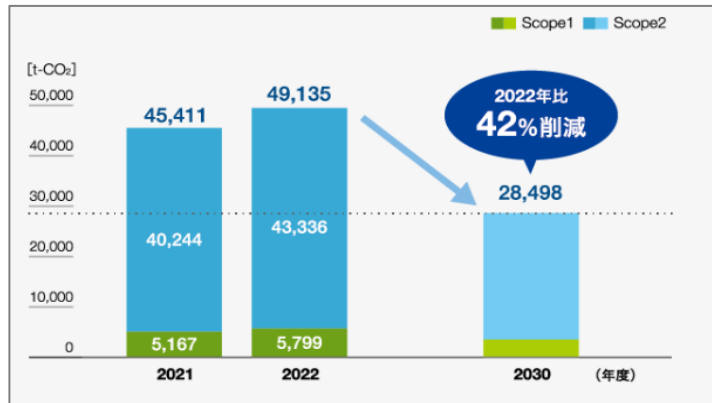
### CDP評価を獲得



2023年度CDP質問票(気候変動および水セキュリティ)へ初めて正式回答を行い、下記の評価を獲得しました。

- ▶ 気候変動: B-
- ▶ 水セキュリティ: B-

### 温室効果ガス排出量 (連結Scope1,2)



### 温室効果ガス削減の取り組み

- ▶ 厚木工場・勝山工場のLED化
- ▶ 太陽光発電 グローバルに対応
- ▶ 空調設備の効率化 順次置き換え
- ▶ 社内啓蒙活動

## 社会

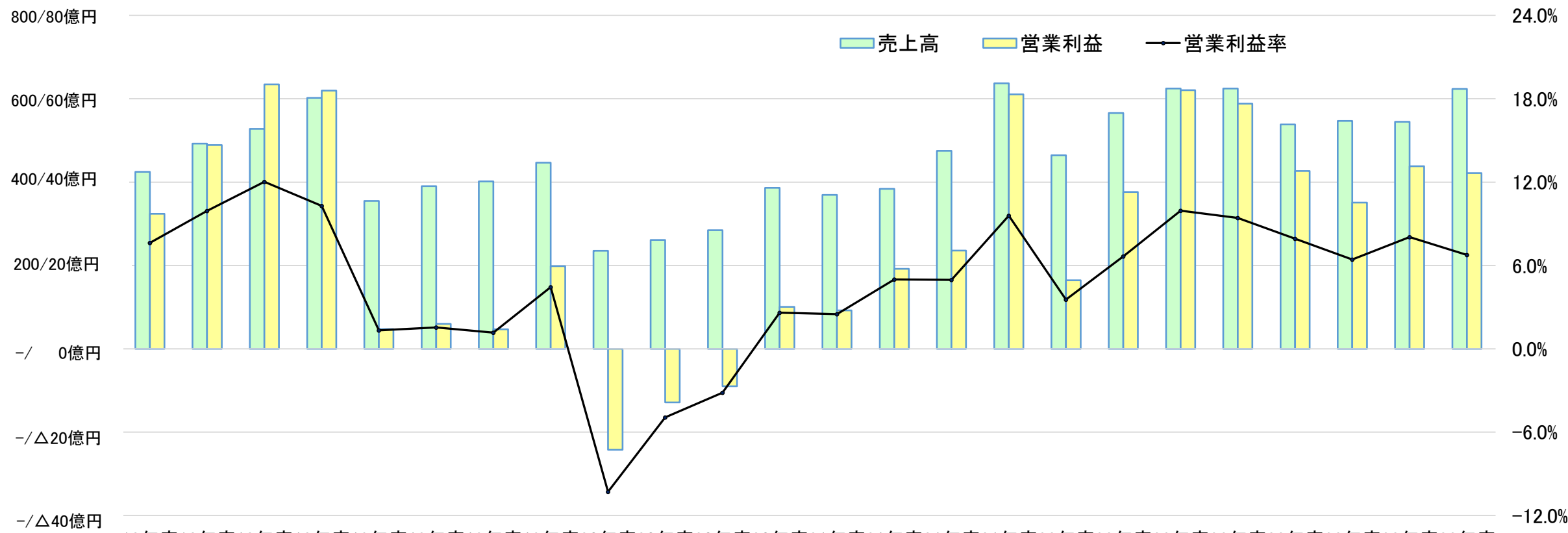
### Makino Parkを拡張

2019年にマキノのアメリカ子会社があるオハイオ州メイソン市に寄付をして完成したMakino Parkにおいて、野球場などの拡張工事が進んでいます。



# ご参考資料

# 売上高と営業利益



18年度18年度18年度18年度19年度19年度19年度19年度20年度20年度20年度20年度21年度21年度21年度21年度22年度22年度22年度22年度23年度23年度23年度23年度  
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q

USD	109.07	110.26	111.14	110.91	109.90	108.63	108.67	108.74	107.62	106.92	106.11	106.06	109.49	109.80	111.10	112.38	129.57	133.97	136.51	135.47	137.37	141.00	143.29	144.62
EUR	130.06	129.85	129.49	128.41	123.49	121.42	121.05	120.82	118.48	121.30	122.38	123.70	131.96	130.90	130.62	130.56	138.12	138.73	140.59	140.97	149.47	153.39	155.29	156.80
SGD	81.79	81.64	81.80	81.69	80.61	79.34	79.48	79.28	76.21	76.74	77.03	77.65	82.16	81.80	82.46	83.33	94.09	96.55	98.36	98.62	102.54	104.85	106.42	107.52



対 前年同期

(百万円)

	'24年3月			売上高の増減	営業利益の増減
	外部売上高	為替レート	(前年同期)		
USD	USD 418M	144.62	(135.47)	3,824	629
EUR	EUR 138M	156.80	(140.97)	2,187	616
SGD	SGD 833M	107.52	(98.62)	7,414	394
			合計	13,425	1,639

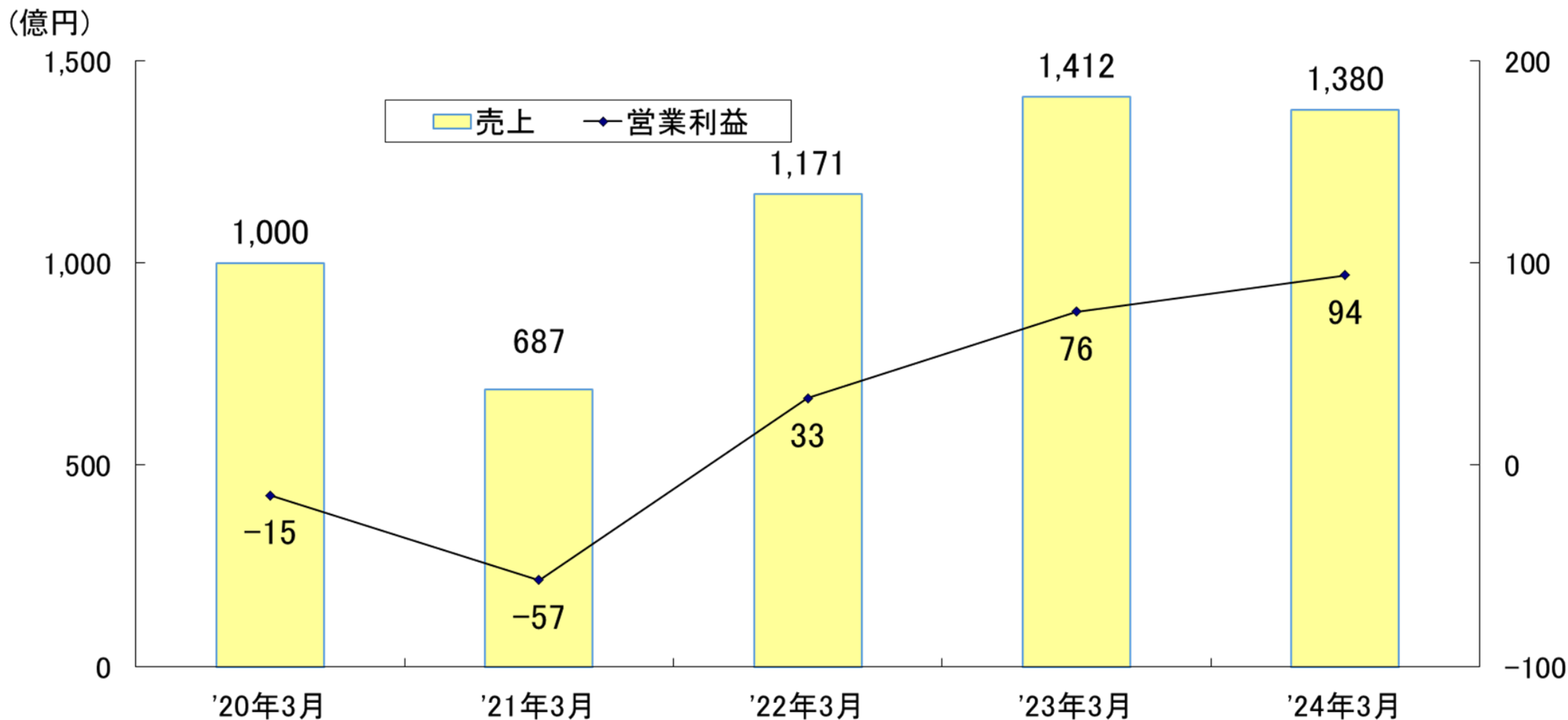
# 為替レートの変動による売上高・営業利益の増減額



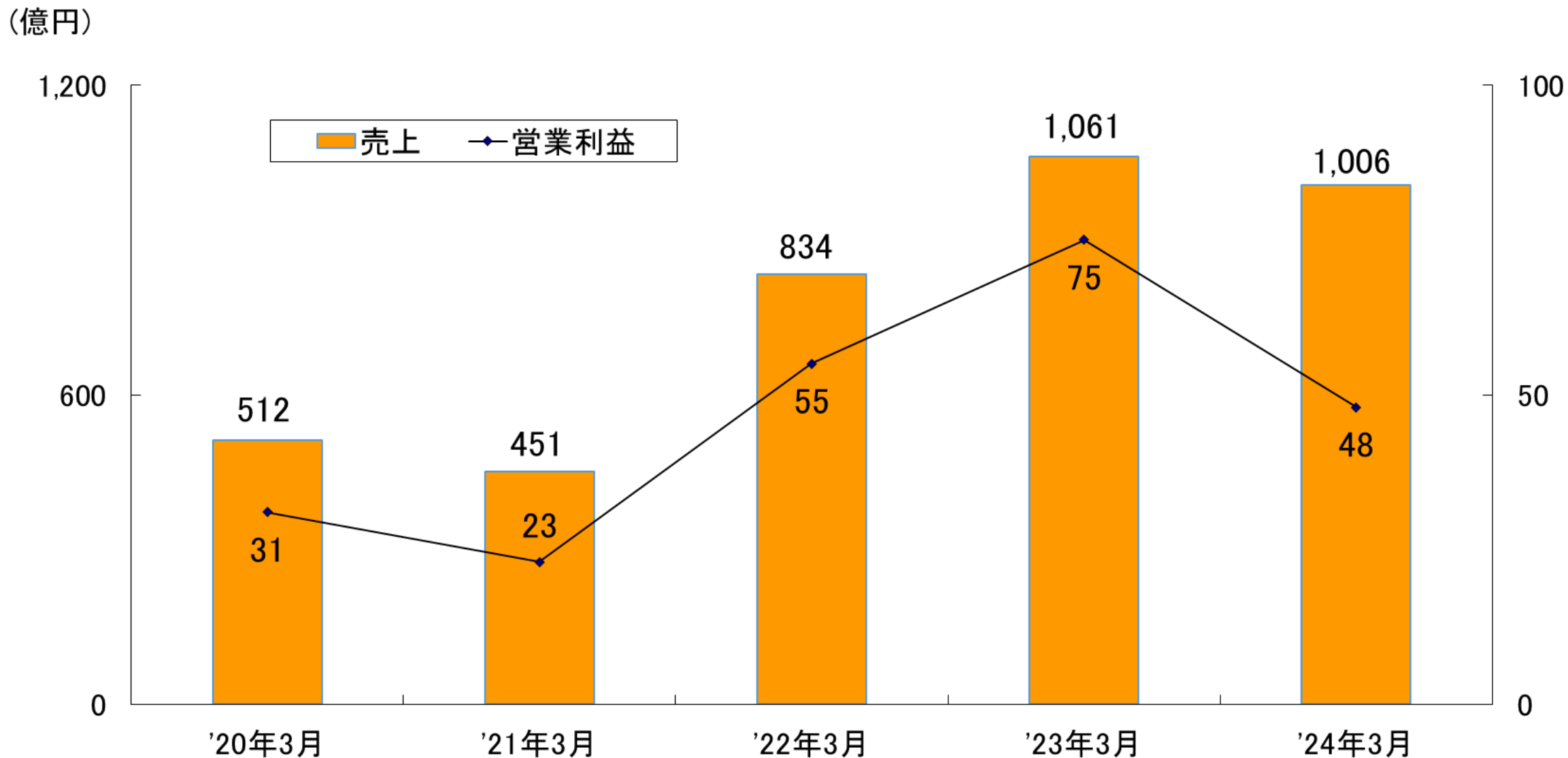
対 予想

(百万円)

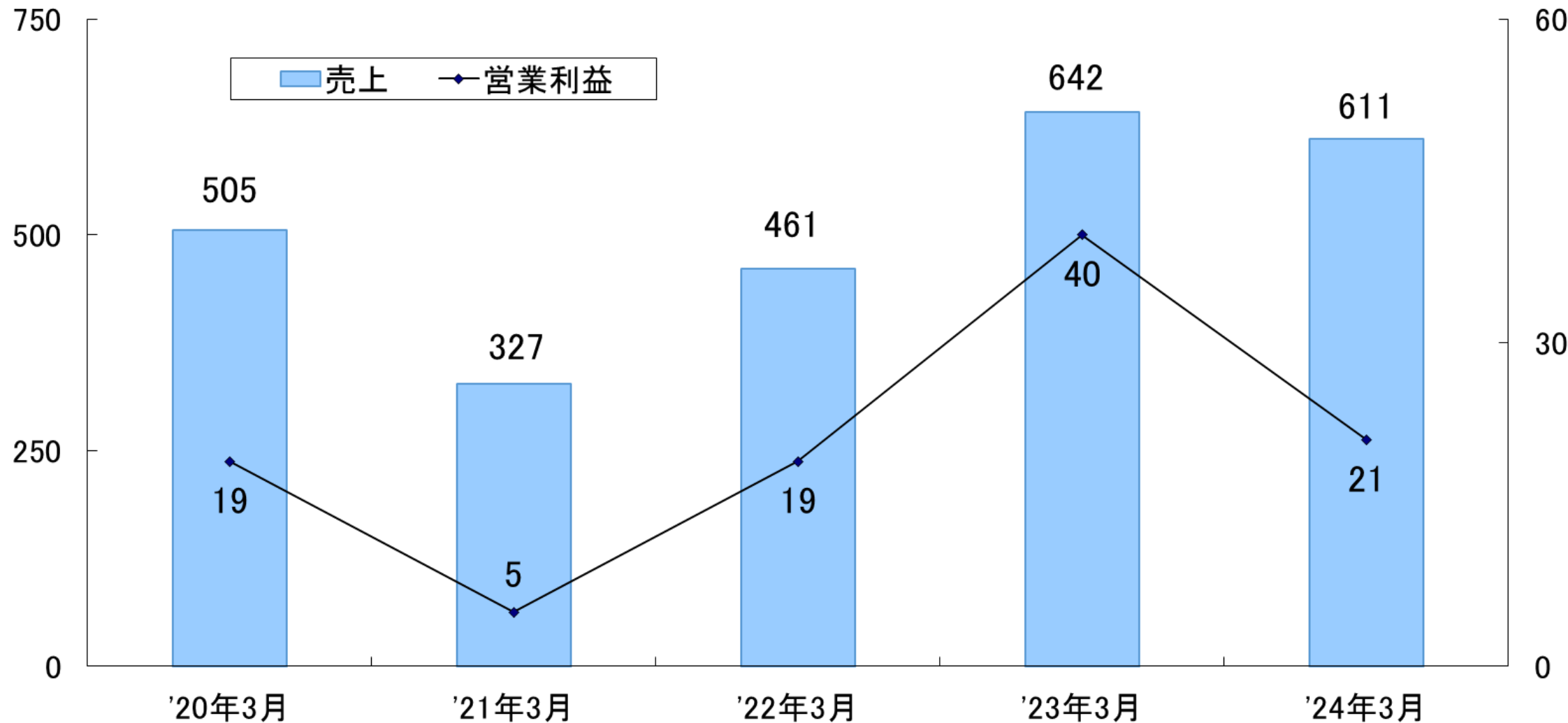
	'24年3月			売上高の増減	営業利益の増減
	外部売上高	為替レート	(予想レート)		
USD	USD 418M	144.62	(143.50)	468	76
EUR	EUR 138M	156.80	(155.80)	138	38
SGD	SGD 833M	107.52	(106.90)	516	27
			合計	1,122	141





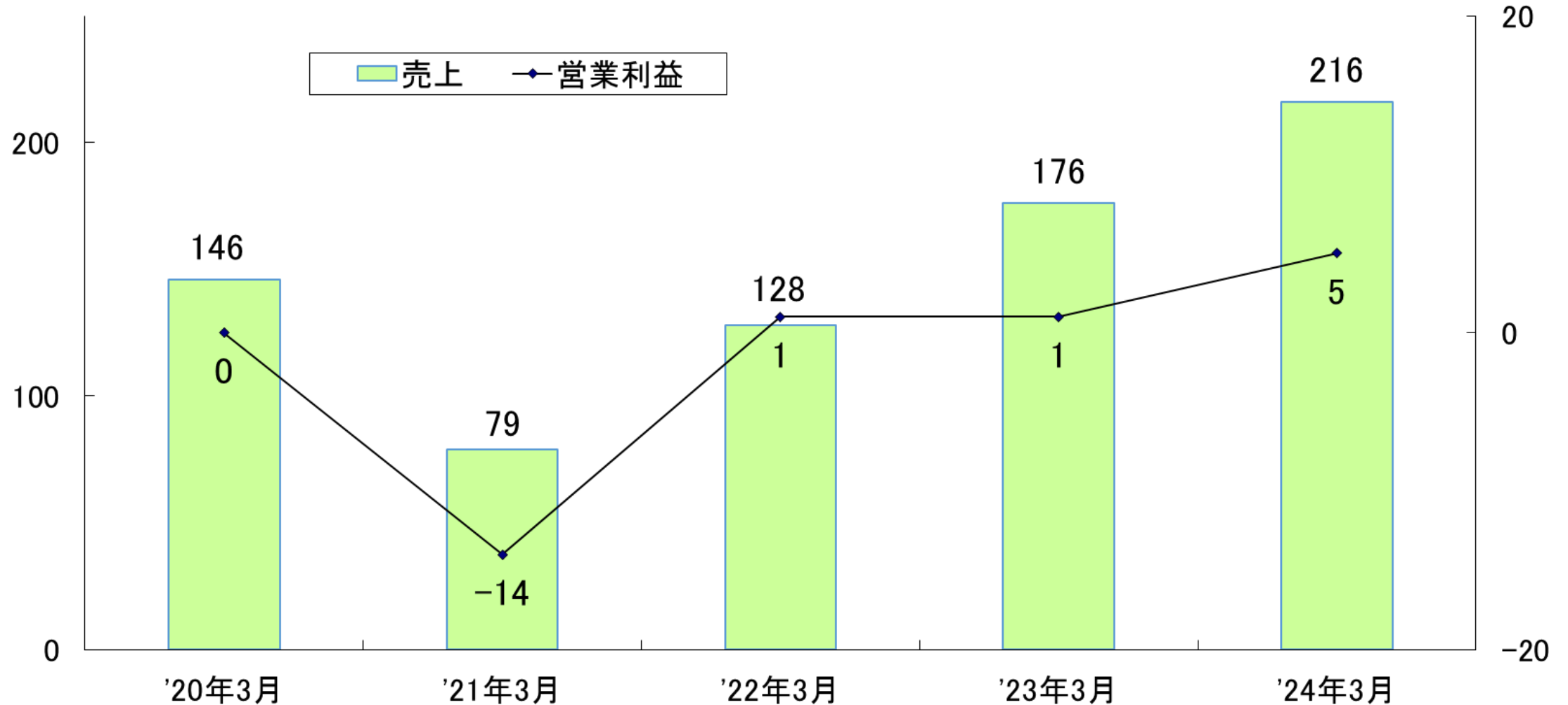


(億円)



# 売上高と営業利益（報告セグメント別）-セグメントⅣ-

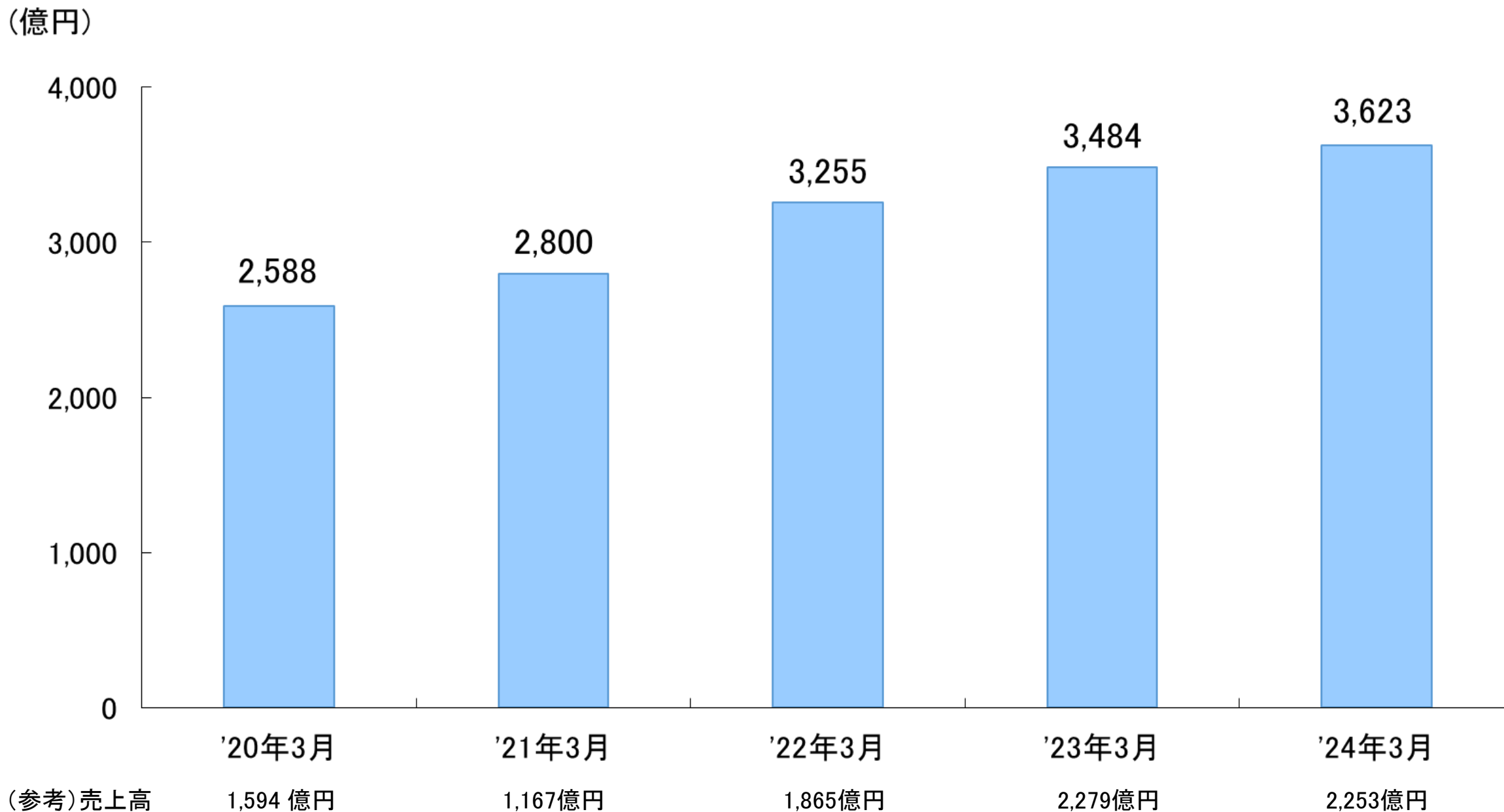
(億円)



# 連結貸借対照表主要項目推移(総資産)

2024/4/30

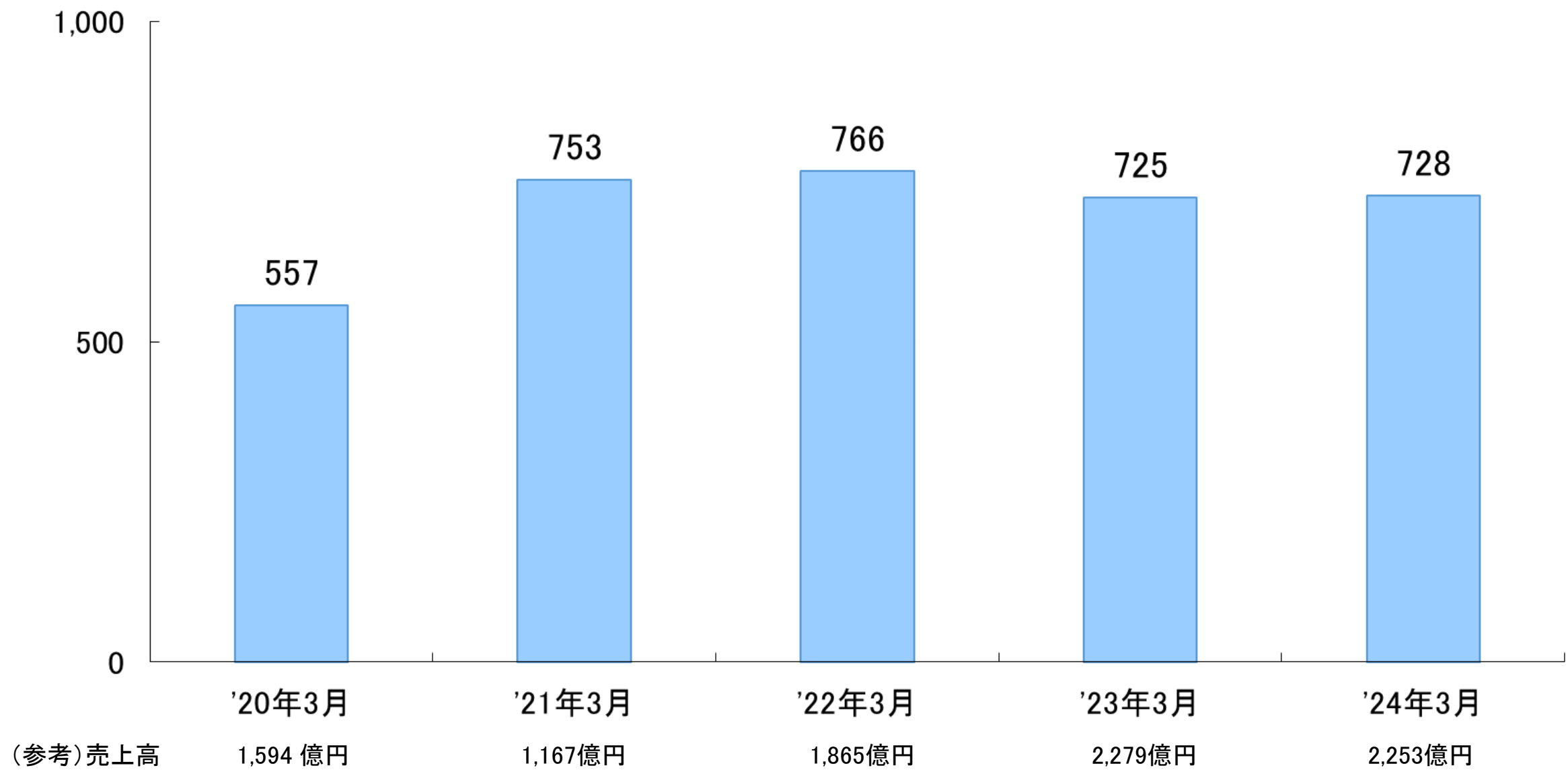
No.36



# 連結貸借対照表主要項目推移(現預金+有価証券)



(億円)



# 連結貸借対照表主要項目推移(売上債権及び回転月数)

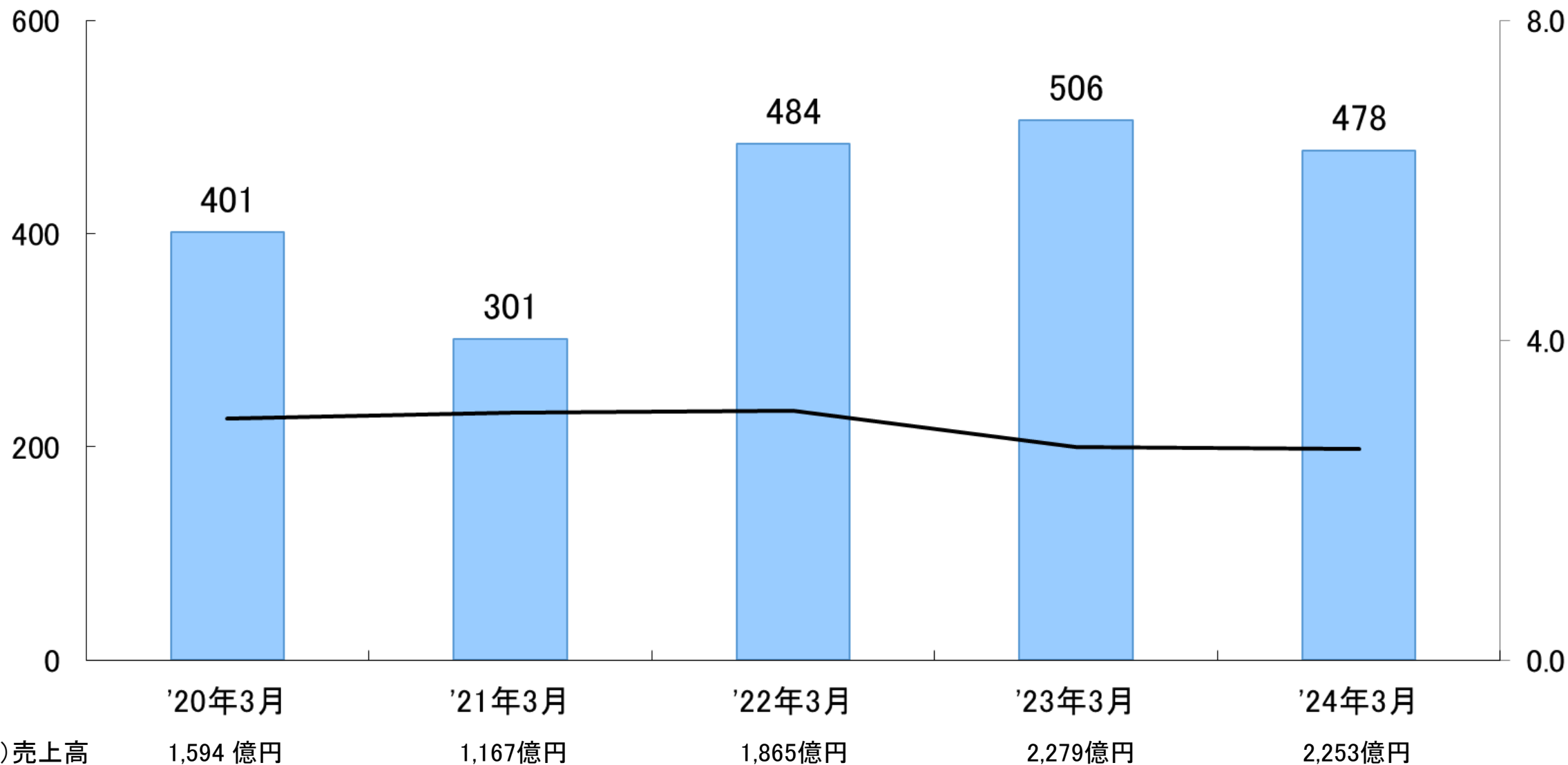
2024/4/30



No.38

(億円)

(ヶ月)



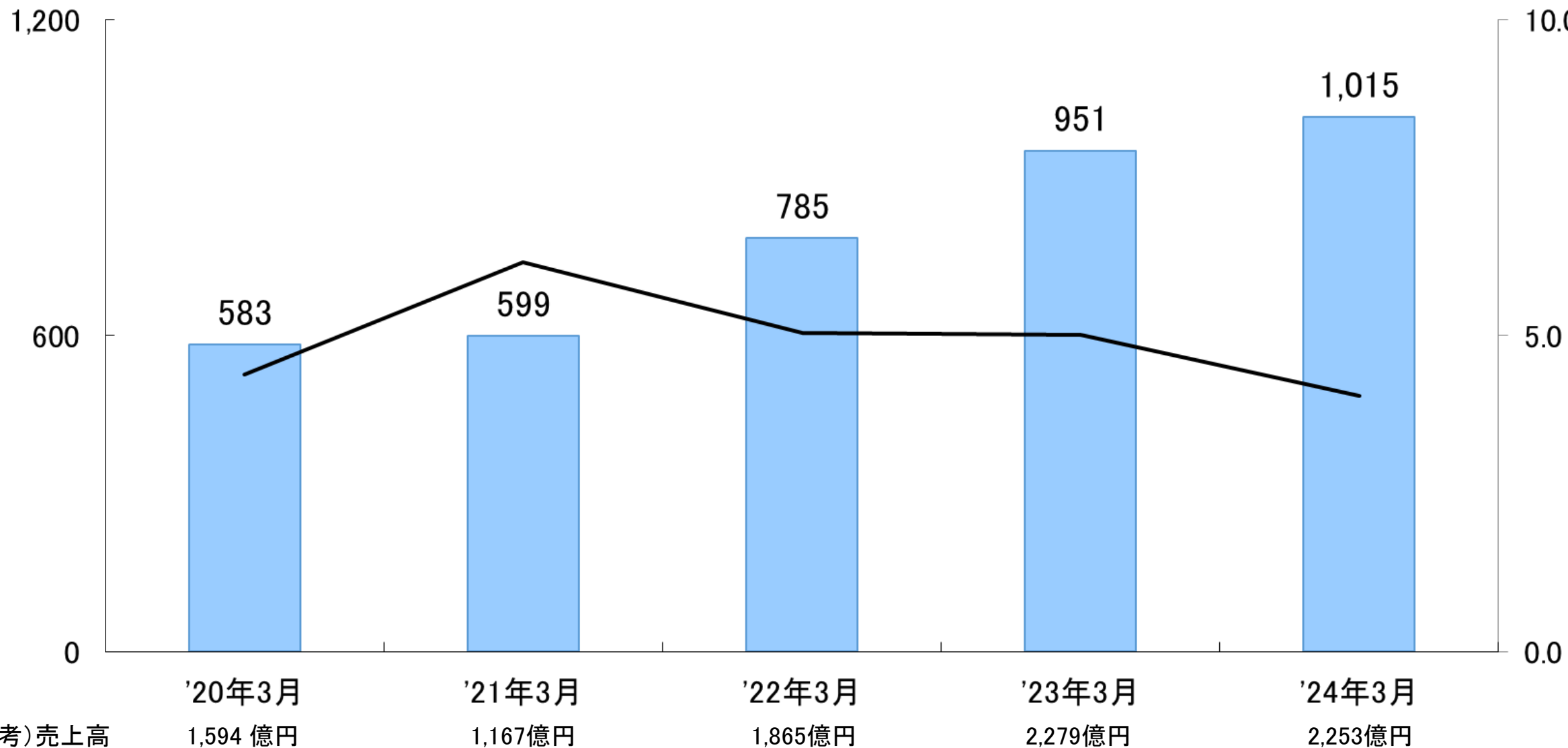
# 連結貸借対照表主要項目推移(棚卸資産及び回転月数)

2024/4/30



No.39  
(ヶ月)

(億円)



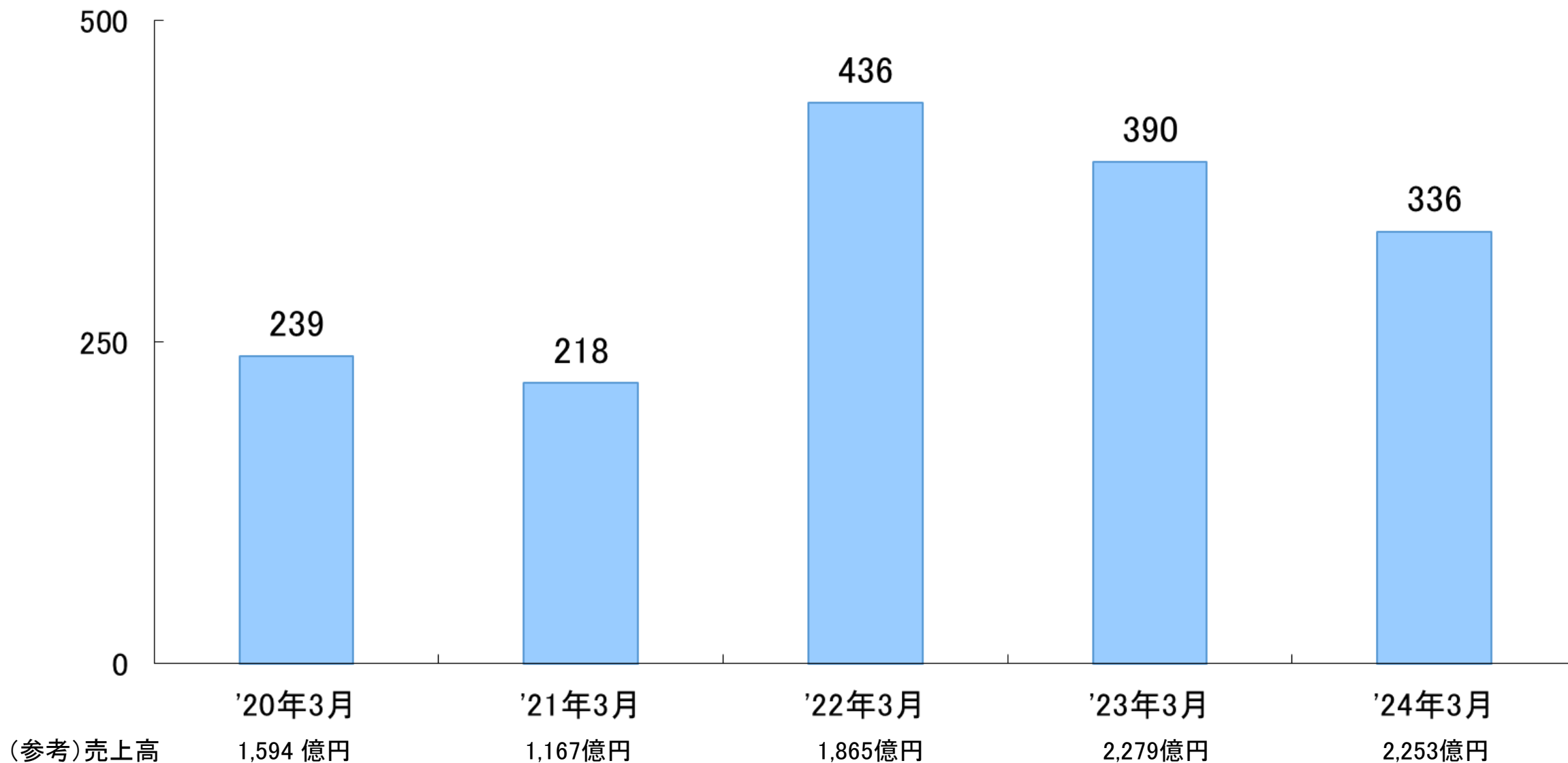
# 連結貸借対照表主要項目推移(仕入債務)

2024/4/30



No.40

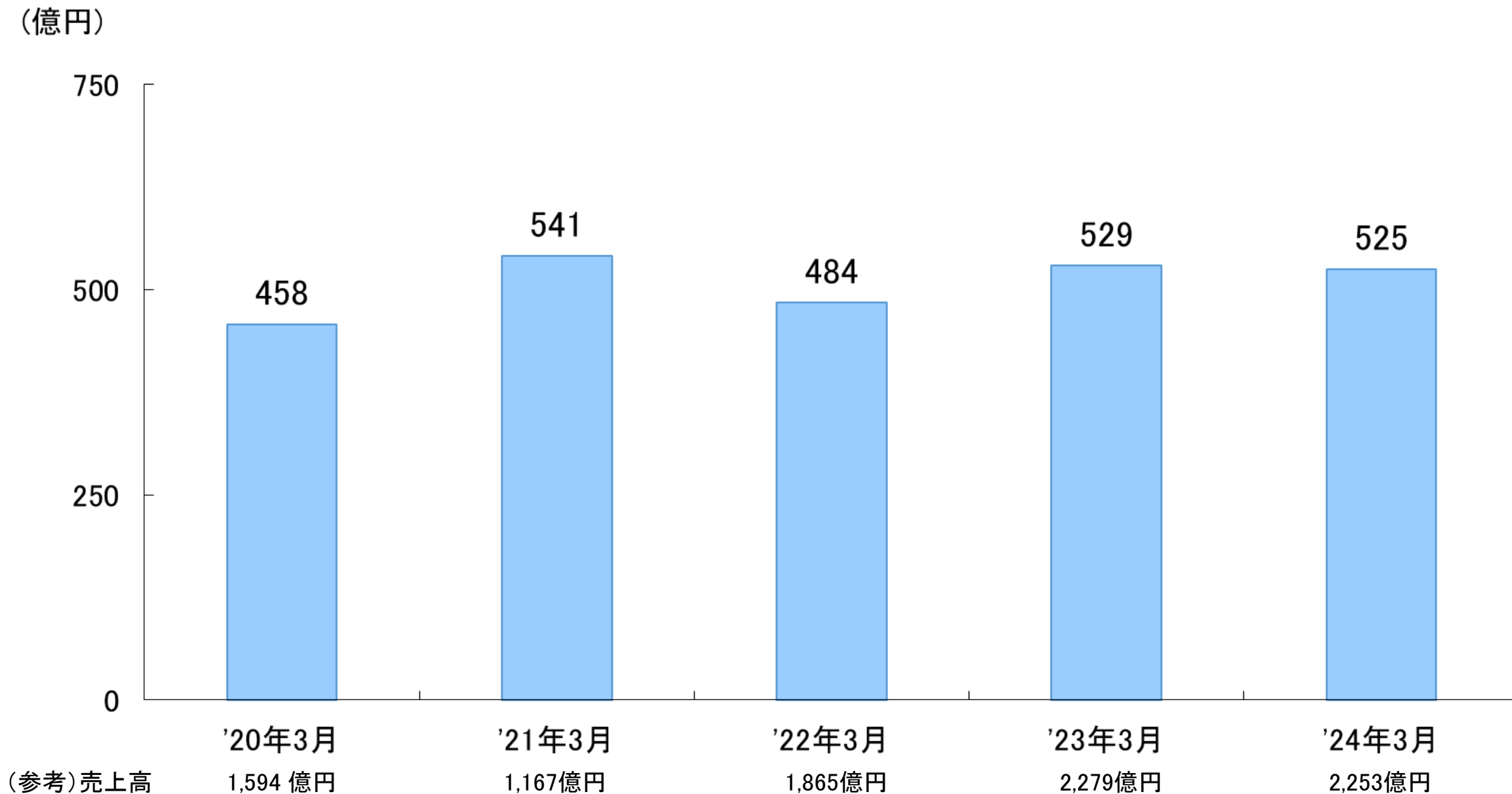
(億円)





# 連結貸借対照表主要項目推移(有利子負債)

2024/4/30





本説明資料に記載いたしました将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績は、さまざまな要因により、記載された見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化等があります。なお業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。